

平成29年度自己評価報告書

平成30年3月31日現在

学校法人国際ことば学院
国際ことば学院外国語専門学校

平成30年5月10日作成

目 次

1 学校の理念、教育目標	1	4-14 資格・免許の取得率	2 6
2 本年度の重点目標と達成計画	2	4-15 卒業生の社会的評価	2 7
3 評価項目別取組状況	3	基準5 学生支援	2 8
基準1 教育理念・目的・育成人材像	4	5-16 就職等進路	2 9
1-1 理念・目的・育成人材像	5	5-17 中途退学への対応	3 0
基準2 学校運営	7	5-18 学生相談	3 1
2-2 運営方針	8	5-19 学生生活	3 2
2-3 事業計画	9	5-20 保護者との連携	3 3
2-4 運営組織	1 0	5-21 卒業生・社会人	3 4
2-5 人事・給与制度	1 2	基準6 教育環境	3 8
2-6 意思決定システム	1 3	6-22 施設・設備等	3 9
2-7 情報システム	1 4	6-23 学外実習、インターンシップ等	4 1
基準3 教育活動	1 5	6-24 防災・安全管理	4 3
3-8 目標の設定	1 6	基準7 学生の募集と受入れ	4 5
3-9 教育方法・評価等	1 7	7-25 学生募集活動	4 6
3-10 成績評価・単位認定等	2 0	7-26 入学選考	4 8
3-11 資格・免許取得の指導体制	2 1	7-27 学納金	5 0
3-12 教員・教員組織	2 2	基準8 財 務	5 1
基準4 学修成果	2 4	8-28 財務基盤	5 2
4-13 就職率	2 5	8-29 予算・収支計画	5 4

8-30	監査.....	5 5
8-31	財務情報の公開.....	5 6
基準 9	法令等の遵守.....	5 7
9-32	関係法令、設置基準等の遵守.....	5 8
9-33	個人情報保護.....	5 9
9-34	学校評価.....	6 0
9-35	教育情報の公開.....	6 2
基準 10	社会貢献・地域貢献.....	6 3
10-36	社会貢献・地域貢献.....	6 4
10-37	ボランティア活動.....	6 6
4	平成 28 年度重点目標達成についての自己評価.....	6 7

評定について

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善法作への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1 学校の理念、教育目標

教 育 理 念	教 育 目 標
<p>他者のために、他者と共にあろうとする人材の育成</p> <p>言語や技術を越えたコミュニケーション力によって、多様性社会を牽引する国際人の育成</p> <p>多言語を駆使し、IT スキルと異文化理解力の高い人材、国際社会の発展に貢献する人材の育成</p>	<p>① 自文化を大切にし</p> <p>② 社会の多様性に適応し</p> <p>③ 言語力を越えたコミュニケーション力を持つ</p> <p>以上の人材を育成することを教育目標とします。</p>

2 本年度の重点目標と達成計画

平成 30 年度重点目標	達成計画・取組方法
<p>基準 1 理念・目的・育成人材像 1-1-2 育成人材像は専門分野の関連する業界等の人材ニーズに適合しているか ⑤関連業界関係者に具体的な教材選定等にもアドバイスいただき、ニーズに応え得る人材像の最適化に努める。</p> <p>基準 3 教育活動 教育方法・評価等 3-9-4 授業評価を実施しているか ④H30 年度は授業評価を有効活用するため教員からのフィードバックを行う。</p> <p>基準 6 教育環境 施設・設備等 6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか ③学生の学習支援のために図書室を充実させる。</p> <p>基準 9 法令等の遵守 9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか ③セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定し対応マニュアルを策定し相談窓口を設置する。</p>	<p>基準 1 理念・目的・育成人材像 1-1-2 育成人材像は専門分野の関連する業界等の人材ニーズに適合しているか ⑤現使用中のビジネス関連教材を挙げ、就職指導室と連携し、業界関係者に意見を伺い、来年度使用教材を再考する。</p> <p>基準 3 教育活動 教育方法・評価等 3-9-4 授業評価を実施しているか ④学期ごとの学生アンケートの集計結果を各教員に通知し、それに対するフィードバックを提出してもらおう。その後教科毎の講師会で意見交換を行いその後の授業に反映させていく。</p> <p>基準 6 教育環境 施設・設備等 6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか ③当校の図書室についての学生ニーズを把握し、図書室のあり方、利便性を把握し図書室改善報告書を今年度中に取りまとめ、改善活動に取り組む。</p> <p>基準 9 法令等の遵守 9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか ③相談窓口を法人本部とし教職員や学生に周知する。併せてマニュアルの整備を行う。</p>

最終更新日付	2018 年 5 月 10 日	記載責任者	袴田 靖子
--------	-----------------	-------	-------

3 評価項目別取組状況

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>□教育理念と理念に基づく育成人材像の再定義を学校関係者評価委員会の意見等を取り入れながら行い昨年度より学校案内への明記など文書化を行っている。その際、多言語、ビジネススキルと国際コミュニケーション力の習得を特性として定義した。</p> <p>□理念、育成人材像の実現のためにカリキュラム編成委員会を中心に具体的な目標・計画・方法の策定を行っている。</p> <p>□教員採用にあたっては関連業界からの紹介等を受けてはいないが関連業界経験者の採用を行っている。</p> <p>□関連業界関係者が行う授業は教材を選定していただいているが、学校全体の日々の授業の教材選定までには関わっていただいている。</p> <p>□中期的な視点で学校の将来構想を定めているが、周知にまでには至っていない。</p>	<p>□教育理念及び育成人材像について他校との差別化を図る形で作成した。今後は、学生・保護者・関連業界へ浸透させるべく情報発信のできるだけ多くの対外販促ツールへの記載を徹底していく。</p> <p>□現状教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の委員の意見を取り入れて最適化に努めているが、引き続き授業を担当いただいている企業の方の意見等も積極的に取り入れていく。</p> <p>□関連業界出身の外国語講師自体の母数が少なく採用には苦労しているが、今後も引き続き採用の開口を広げていく。</p> <p>□関連業界関係者に具体的な教材選定等にもアドバイスいただき、人材ニーズの最適化に努める。</p> <p>□グループ全体の中でのバランスを見ながら状況の変化に対応し策定した中期事業計画を見直し、また中長期的な将来構想を定め、教職員をはじめ、学生、保護者、関連業界への周知に努める。</p>	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	①理念に沿った目的・育成人材像になっているか ②理念等は文書化するなど明確に定めているか ③理念等において専門分野の特性は明確になっているか ④理念等に応じた課程(学科)を設置しているか ⑤理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか ⑥理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか ⑦理念等の浸透度を確認しているか ⑧理念等を社会の要請に的確に対応させるため、適宜見直しを行っているか	4 4 4 4 4 4 4 4	①教育理念と理念に基づく育成人材像の再定義済み ②学校案内への明記など文書化済み ③多言語、ビジネススキルと国際コミュニケーション力の習得を特性として定義した ④ 設置している ⑤カリキュラム編成委員会を中心に具体的な目標・計画・方法の策定を行っている ⑥学校案内、ホームページ、広報誌などを通して周知に努めている ⑦⑧適宜学内で確認し見直しを図っている	<input type="checkbox"/> 教育理念及び育成人材像について関連業界のニーズに応じる形で再定義済み <input type="checkbox"/> 今後は、学生・保護者・関連業界へ浸透させるべく情報発信のできるだけ多くの対外販促ツールへの記載を徹底していく。	学校案内 ホームページ 広報誌
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	①課程(学科)毎に、関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか ②教育課程・授業計画(シラバス)等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか	4 4	①学校関係者評価委員会の意見等を取り入れながら育成人材像を明確化した ②教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の皆様の協力を得ている	<input type="checkbox"/> 現状教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の委員の意見を取り入れて最適化に努めているが、引き続き授業を担当いただいている企業の方の意見等も積極的に取り入れていく。	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
1-1-2 続き	③専任・兼任(非常勤)にかかわらず、教員採用において、関連業界等から協力を得ているか ④学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか ⑤教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	3 3 3	③関連業界からの紹介等を受けてはいないが関連業界経験者の採用を行っている ④実習の実施にあたっては、関連業界の協力を得ている ⑤関連業界関係者が行う授業等に関連業界作成のテキスト等を使用している	□関連業界出身の外国語講師自体の母数が少なく採用には苦勞しているが、今後も引き続き採用の間口を広げていく。 □学内外とも積極的に関連業界の協力を得ながら実習を行っているが企業との日時調整が難しい場合が多く長期計画の中で設定していく必要がある。 □関連業界関係者に現使用教材を公開し、選定への参考意見を伺う機会を設ける。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	①理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか ② 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	3 3	①多国籍の学生の積極募集等、理念等達成の環境づくりに取り組んでいる ②卒業生採用企業との提携などに取り組んでいる	□多言語でコミュニケーションできる環境づくりのために中国人、韓国人、英語圏の学生の積極募集が必要であり、教員についてもマルチリンガル教員の積極採用が必要である。 □多様な業種との提携授業拡大が必要である。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	①中期的(3~5年程度)な視点で、学校の将来構想を定めているか ②学校の将来構想を教職員に周知しているか ③学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	4 4 3	①定めている ②会議等で周知している ③理念・育成人材像の周知には務めているが、将来構想の周知までには至っていない	□概略的な中期事業計画が中心であり、アクションプランを盛り込んだ中期計画の策定を行う。 □アクションプランまで落とし込んだ段階で各部門の役割の明確化と周知を行う予定である。 □次年度以降の課題としてグループ全体の中のバランスを見ながら取り組む。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
グループ全体の中でのバランスを見ながら概略的な中期事業計画を策定し、また中長期的な将来構想を定め、教職員をはじめ、学生、保護者、関連業界への周知に努める。 関連業界関係者に具体的な教材選定等にもアドバイスいただき、人材ニーズの最適化に努める。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

基準 2 学校運営

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>運営方針 <input type="checkbox"/> 教育理念、育成人材像について社会のニーズにあわせて改定した。今後は、その周知と共に浸透度の確認手法を確立しなければならない。</p> <p>事業計画 <input type="checkbox"/> 単年度の事業計画と予算執行状況を3ヶ月ごとに事務局に報告し、6ヶ月ごとに理事会で審議する体制を作っている。</p> <p>運営組織 <input type="checkbox"/> 寄付行為につき必要に応じて適切な手続きを経て改正したところである。それ以外の学校運営組織として大きな問題は生じていない。現状に満足することなく学生満足度の向上を目指せる運営形態であるか常に確認し最適化を図っていく。</p> <p>人事・給与制度 <input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについては適切に行われているが、採用後の昇任・昇給の規定や人事制度の導入が遅れている。今年度計画の中で規定を整備していく。</p> <p>意思決定システム <input type="checkbox"/> 意思決定システムは機能しているといえるが、規則・規定については未整備である。</p>	<p>運営方針 <input type="checkbox"/> 昨年度、運営方針の改定を行ったので教職員への周知に努める。</p> <p>事業計画 現状大きな課題はない。</p> <p>運営組織 <input type="checkbox"/> 現状に満足することなく常に学生満足度の向上を目指せる運営形態を目指し最適化を図っていく予定である。</p> <p>人事・給与制度 <input type="checkbox"/> 採用後の昇任・昇給の規定や人事制度の導入が遅れているので中期計画の中で整備していく。</p> <p>意思決定システム <input type="checkbox"/> 規則・規定については未整備であるので中期計画の中で整備していく。</p>	

最終更新日付

2018年5月10日

記載責任者

袴田 靖子

2-2 運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	①運営方針を文書化するなど明確に定めているか ②運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか ③運営方針を教職員等に周知しているか ④運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	4 4 3 2	①重点目標として運営方針の文書化を行っている ②運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえて定めている ③④周知は図れているが浸透度を確認するまでに至っていない	<input type="checkbox"/> 運営方針の教職員への理解と周知を図っていく。 <input type="checkbox"/> 策定後に学内教職員に周知し、新年度開始前に行われる全体講師会などで組織内での浸透を図る。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念、育成人材像について社会のニーズにあわせて改定した。今後は、その周知と共に浸透度の確認手法を確立しなければならない。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

2-3 事業計画

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	①中期計画(3~5年程度)を定めているか ②単年度の事業計画を定めているか ③事業計画に予算、事業目標等を明示しているか ④事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか ⑤事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期、内容を明確にしているか	4 4 4 4 4	①中期計画を定めている。 ②単年度の事業計画を定めている。 ③事業計画に予算、事業目標を明示している。 ④執行体制・業務分担は明確にしている。 ⑤事業の執行進捗状況、及び見直しの時期は明確にしている。	□事業計画については計画にしたがって作成され、執行体制、業務分担も明確にされている。 □事業計画と予算執行状況は3ヶ月ごとに事務局に報告し6ヶ月ごとに理事会で審議する体制をとっている。 □現状、大きな課題はないがより短いスパンでの執行・進捗管理が行われる体制が今後必要である。	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
現状大きな課題はないが、単年度の事業計画と予算執行状況を3ヶ月ごとに事務局に報告し、6ヶ月ごとに理事会で審議する体制を作っている。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

2-4 運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	①理事会、評議員会は寄附行為に基づき適切に開催しているか ②理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか ③寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4 4 3	①2ヶ月毎に定期的で開催されている。 ②適切に議事録を作成し必要な審議を行っている。 ③寄附行為は、29年度中の申請に遅れが生じた。	<input type="checkbox"/> 必要な変更認可申請には絶対に遅れが生じないように十分注意する。担当者に任せるのではなく、組織として進捗状況で管理する。	
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	①学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか ②現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか ③各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか ④会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規程等で明確にしているか ⑤会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか ⑥組織運営のための規則・規程等を整備しているか ⑦規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	4 4 3 3 4 3 4	①事務及び教学組織を整備している。 ②組織規定、組織図等は整備している。 ③各部署の役割分担組織目標は文書化されているが規定化はされていない ④会議等の決定権限は文書化されているが全てが規定化されているわけではない。 ⑤議事録は作成されている。 ⑥整備されているが完璧であるとはいえない。 ⑦必要に応じて改定している。	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織は整備されており、組織規定、組織図等は整備されている。 <input type="checkbox"/> 各部署の役割分担は、規定化、文書化がまだ完成しておらず引き続き整備が必要である。 <input type="checkbox"/> 全ての会議、委員会等の決定権限、委員会構成について規定等で明確にされているわけではなく中期計画の中で整備していく予定である。	

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
2-4-2 続き	⑧学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	4	⑧学外研修への積極的な参加を呼びかける、学生との接触機会を増やし学生ニーズを把握するなどの取組みを行っている。	<input type="checkbox"/> 学校目標の浸透と組織目標の設定、環境整備を行い、学生満足度の高い事務部門としての改善を行っていく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
寄付行為につき必要に応じて適切な手続きを経て改正したところである。それ以外の学校運営組織として大きな問題は生じていない。現状に満足することなく学生満足度の向上を目指せる運営形態であるか常に確認し最適化を図っていく。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

2-5 人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	①採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか	3	①採用基準・採用手続きについては規定等を明確化し適切に運用している	<input type="checkbox"/> 採用基準、採用手続きは現状適切に行われているが、今後規定の整備に取り組む予定である。 大きな問題はない。 <input type="checkbox"/> 昇任・昇給の規定や人事考課制度の導入には至っておらず、法人本部と連携して3カ年計画で整備していく。	
	②適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか	4	②欠員時は適切な採用広報を行い人材を確保している。		
	③給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか	4	③給与支給等に関する基準等は整備され適切に運用されている。		
	④昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか	2	④昇任・昇給基準は規定化されていない。		
	⑤人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	2	⑤人事考課制度についても規定化されていない。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
採用基準・採用手続きについては適切に行われているが、採用後の昇任・昇給の規定や人事制度の導入が遅れている。今年度計画の中で規定を整備していく。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

2-6 意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	①教務・財務等の事務処理において、意思決定システムを整備しているか ②意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか ③意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	4 4 3	①意思決定のプロセスでの文書化、押印など意思決定について整備している。 ②部門権限、最終権限等明確にしている。 ③組織図等で文書化されているが規定化されていないわけではない。	<input type="checkbox"/> 教務・財務の意思決定システムは整備され機能しているといえるが、規則・規定等で明確にされておらず中期計画の中で整備していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは機能しているといえるが、規則・規定については未整備である。中期計画の中で整備していく。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

2-7 情報システム

小項目	チェック項目	評価	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	①学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか	3	①学校サーバ内での共有フォルダで管理されている。	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理、業務管理については、学内の専用サーバ内の共有フォルダを通して作業できるようにしている。また学生個人情報に係る文書については全てパスワード化されている。 <input type="checkbox"/> 学内のシステムについては、定期的にメンテナンスをし、強固な企業向け UTM の設定、セキュリティ対策を行っている <input type="checkbox"/> メンテナンス協力会社とは常に問題点の洗い出しに努めており現状大きな課題は見つかっていないが、システム関連に 100% はなく、常に最新の情報を得ることができるよう努めている。 <input type="checkbox"/> 部門ごとに分断されたデータの統合は中長期的に解決させる。	
	②これらシステムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか	3	②常勤教職員は常時閲覧可能であり情報提供、意思決定に活用されている		
	③学生指導において、適切に（学生情報管理）システムを活用しているか	3	③部門ごとに分断されているデータが散見されている。		
	④データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか	4	④スケジュールを確認しながら常にアップデートに努めている。		
	⑤システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか	4	⑤強固な UTM を設定し原則学内のみ閲覧可能としセキュリティ対策も行っている		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現在の組織体では、十分なデータを扱える共有サーバとセキュリティー対策を行っている。部門ごとに分断されたデータを統合することで業務効率化を図れると想定できるが現状対策が打てず、中長期計画のなかで解決していきたい。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

基準 3 教育活動

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>目標の設定</p> <p><input type="checkbox"/>職業教育に関する方針を H29 年度に文書化した。学生の資質向上に伴いクラスや担当の枠を超え、教科ごとの資格取得に向けての支援指導をさらに強化する。</p> <p>教育方法・評価等</p> <p><input type="checkbox"/>H27 年度から継続して教育課程の改編を実施しているが、キャリア教育についての、外部の意見聴取十分に行っていない。</p> <p><input type="checkbox"/>H29 年度は評価アンケートの結果を授業改善に役立てられるよう教員へのフィードバックを行った。</p> <p>教員・教員組織</p> <p><input type="checkbox"/>年間の学外研修参加を奨励しているが十分ではない。</p> <p><input type="checkbox"/>教員組織における業務分担・責任体制は規定化されていない。</p>	<p>目標の設定</p> <p><input type="checkbox"/>H30 年度も引き続き学生の資質向上に伴いクラスや担当の枠を超えて、担当教科ごとに資格取得に向けての支援指導を行う体制をさらに強化する。</p> <p>教育方法・評価等</p> <p><input type="checkbox"/>まずは就職指導部と連携して卒業生、就職先等の意見聴取を行い、キャリア教育の整備、充実を図る。</p> <p><input type="checkbox"/>授業評価を実施する体制を整え、評価内容を改善した。H30 年度は教員からのフィードバックを行い有効活用を目指す。</p> <p>教員・教員組織</p> <p><input type="checkbox"/>年間の学外研修参加を奨励する施策を打ち出す</p> <p><input type="checkbox"/>教員組織における業務分担・責任体制について大まかな規定から着手する。</p>	

最終更新日付

2018 年 5 月 10 日

記載責任者

櫻井 満希

3-8 目標の設定

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	①教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか	4	①教育課程の編成方針、実施方針は文書化した。	□職業教育に関する方針を H29 年度中に文書化した。	1 成績評価基準
	②職業教育に関する方針を定めているか	3	②職業教育に関する方針も文書化した。		
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	①学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか	4	①教科毎に目標到達レベルを定めている。	□クラスや担当の枠を超えて、担当教科（言語など）ごとに全体の教育到達レベルを周知させて、効果的な利用法や工夫をさせていく。 □資格免許の取得に関しては、学生の資質向上に伴い、教科の枠を超えて資格取得に向けての支援、指導を行う体制をさらに強化していく。	
	②教育到達レベルは、理念等に適合しているか	3	②教育到達レベルは達しつつある。		
	③資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか	4	③取得の意義を指導しており、事前指導とフォローアップ体制を整えている。		
	④資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	4	④取得指導、支援体制を整備している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
職業教育に関する方針を H29 年度中に文書化した。 学生の資質向上に伴いクラスや担当の枠を超え、教科ごとの資格取得に向けての支援指導をさらに強化する。	

最終更新日付

2018 年 4 月 10 日

記載責任者

櫻井 満希

3-9 教育方法・評価等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課題と今後の改善方策	参照資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	①教育課程を編成する体制は、規定などで明確にしているか	3	①規定化していないが、カリキュラム編成委員会を設置している。	<input type="checkbox"/> 学則などでカリキュラム編成委員の設置を明確にする。	1 教育課程編成委員会規定 2 学校関係者評価委員会
	②議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか	3	②会議議事録は作成している。	<input type="checkbox"/> 正式な会議記録の作成をし、編成過程を明確にする。	
	③授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか	4	③新カリキュラムにおいても専門、一般科目は適切に配分している。		
	④授業科目の開設において、必修科目、選択科目を適切に配分しているか	4	④新カリキュラムにおいても必修、選択科目は適切に配分している。		
	⑤修了に係る授業時数、単位数を明示しているか	4	⑤修了単位数を明示している。		
	⑥授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか	4	⑥適切な授業内容を提供している。		
	⑦授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか	3	⑦授業科目の目標に照らし合わせて講義が多い。	<input type="checkbox"/> 適宜、演習を増やす工夫を続ける。	
	⑧授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか	4	⑧各教員による工夫を行い、教科でも取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 今後は学校として授業内容・授業方法の工夫に取り組むため、学内における講師研修の制度化を図っていく。	
	⑨職業実践教育の視点で、授業科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか	3	⑨講義に比べ実習、演習が少ない。	<input type="checkbox"/> 実習演習を増やすべく、引き続き連携する企業を開拓している。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
3-9-1 続き	<p>⑩職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等工夫しているか</p> <p>⑪単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか</p> <p>⑫授業科目について、授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているかを</p> <p>⑬教育課程は定期的に見直し改定を行っているか</p>	3 4 4 3	<p>⑩教育課程の改編を1年生から実施している。</p> <p>⑪適切な指導をしている。</p> <p>⑫授業計画を作成している。</p> <p>⑬定期的ではないが改定を行っている。</p>	<p><input type="checkbox"/>連携する企業をさらに開拓し、職業実践教育の内容充実を図る。</p> <p><input type="checkbox"/>今後は制度化し、定期的な見直し、改定を行っていく。</p>	<p>1 シラバス・コマシラバス・</p> <p>2 授業時間割</p>
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	<p>①教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか</p> <p>②教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか</p> <p>③職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか</p>	3 3 3	<p>①在校生等の意見聴取を行った。</p> <p>②教育課程編成委員会において意見聴取を行っている。</p> <p>③就職指導部を通じて卒業生・就職先等の意見聴取を一部行っている。</p>	<p><input type="checkbox"/>H27年度は学生の評価を行った。H28年度からは授業単位、学期単位で行った。H29年度は東アジア言語学科は講師ごと、国際文化学科は科目ごと毎学期評価を行った。</p> <p><input type="checkbox"/>今後は就職指導部と連携して企業説明会参加企業へのアンケート実施を行う予定である。</p>	
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<p>①キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか</p> <p>②キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか</p>	2 2	<p>①キャリア教育の方針は定めていない。</p> <p>②キャリア教育についてカリキュラム編成委員で検討を始めた。</p>	<p><input type="checkbox"/>キャリア教育の方針についてできるだけ早い時期に文書化する。</p> <p><input type="checkbox"/>文書化されたキャリア教育の方針に基づき具体的な教育内容を決定する。</p>	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
3-9-3 続き	③キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	2	③卒業生・就職先等の評価は行っていない。	□キャリア教育を取り入れ、卒業生、就職先等の意見聴取を行う。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	①授業評価を実施する体制を整備しているか ②学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか ③授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか ④教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	4 4 1 3	①授業評価を行う体制を作った。 ②学生アンケートを実施した。 ③関連業界による授業評価は実施していない。 ④教科ごとのフィードバックを行った	□H29年度は評価アンケートの結果を授業改善に役立てられるよう教員へのフィードバックを行った。H30年度は教員からのフィードバックを行う。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
H27年度から継続して教育課程の改編を実施している。 キャリア教育の整備、充実を図る。 H29年度は評価アンケートの結果を授業改善に役立てられるよう教員へのフィードバックを行った。H30年度は教員からのフィードバックを行い有効活用を目指す。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	櫻井 満希
--------	------------	-------	-------

3-10 成績評価・単位認定等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<p>①成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか</p> <p>②成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取り組んでいるか</p> <p>③入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか</p>	4 4	<p>①成績評価基準は学則に規定している。また、オリエンテーション、Student Handbook にて明示している</p> <p>②担任会議において成績評価の統一性を確保してきた。</p> <p>③本校に該当せず</p>	<p>□客観性・統一性をさらに高めるため定期的な会議を行う。また、さらに統一性を高めるため、教員向けのガイドラインを作成する。</p>	1 成績評価基準
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	①在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4	①学生の課外活動についても把握している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価について、客観性・統一性をさらに高めるため、教員向けのガイドラインを作成する。	コンテスト参加や受賞状況などをホームページやFACEBOOKに掲載している。

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	櫻井 満希
--------	------------	-------	-------

3-11 資格・免許取得の指導体制

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	①取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか ①資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	3 4	①教育課程上では目標とする資格免許を明確にした。 ②明確にして、学生にも周知徹底している。	<input type="checkbox"/> H30年度は、全講師への周知、徹底を図っていく。	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	①資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか ②不合格者及び卒業後の指導体制を整備しているか	4 3	① 試験前の対策授業など指導体制を作っている。 ② 常勤講師、就職部で対応している。	<input type="checkbox"/> 教科ごと今後も必要に応じ指導体制を強化する。 <input type="checkbox"/> 今後さらにきめ細かい指導体制を整える。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
指導体制が整いつつあるので、今後は内容の充実も図っていく。	

最終更新日付	2018年4月10日	記載責任者	櫻井 満希
--------	------------	-------	-------

3-12 教員・教員組織

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	①授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか	3	①授業担当能力・資格を文書化している。	<input type="checkbox"/> 今後は長期的視野に立ち、配置計画を定める。 <input type="checkbox"/> 法人本部と連携し H30 年度中に整備する。	
	②授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか	3	②教員に求める資格等は、確認している。		
	③教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか	3	③教員の知識等を関連業界等のレベルと適合している。		
	④教員採用等人材確保において、関連業界等との連携しているか	3	④教員採用に当たり、関連業界にも案内している。		
	⑤教員の採用計画・配置計画を定めているか	3	⑤教員の採用・配置計画は定めていない。		
	⑥専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか	4	⑥教員の構成を明示した。		
	⑦教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか	2	⑦教員の募集採用手続については内規として規定しているが、明確にしていない。		
	⑧教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	4	⑧講師担当表などを作成し、授業時間数、学生数などを把握している。		

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	①教員の専門性、教授力を把握・評価しているか ②教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか ③関連業界等との連携による教員の研修・研究に取り組んでいるか ④教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	3 3 2 2	①採用時に教員の能力等は、把握している。 ②長期的な研修計画は定めていない。 ③関係業界との連携による研修は十分ではない。 ④教員のキャリア開発への支援がやや不足している。	<input type="checkbox"/> 現在は教員評価制度がないため、今後教員評価システムを導入する。 <input type="checkbox"/> 短期的な研修と併せて、長期的な研修計画を定める。 <input type="checkbox"/> 関連業界と連携し、教員の研修研究を充実させる。 <input type="checkbox"/> H30 年度中に年間の学外研修参加を奨励する施策を打ち出す。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	①分野毎に必要な教員体制を整備しているか ②教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか ③学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか ④授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか ⑤専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか	4 2 4 3 4	①分野ごとに教員体制を整備している。 ②業務分担・責任体制は規程化されていない。 ③教員間の連携・協力体制はある。 ④授業内容・教育方法の評価について組織的な取り組みはしていない。 ⑤専任・兼任教員間の連携・協力体制はある。	<input type="checkbox"/> 各分野の担当者の判断で学期に1～2度程度のミーティングを行っている。今後は定期的な研修会や打ち合わせを実施する。 <input type="checkbox"/> 業務分担・責任体制について大まかな規定を定めることから始める。 <input type="checkbox"/> 教員の資質向上を図るための学内研修制度を整え、授業内容・教育方法の改善や評価に組織的に取り組んでいきたい。	
中項目総括				特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）	
教員募集・採用手続き等の規定を法人本部と連携し整備する。 年間の学外研修参加を奨励する施策を打ち出す。 教員組織における業務分担・責任体制について大まかな規定から着手する。					

最終更新日付

2018年4月10日

記載責任者

櫻井 満希

基準 4 学修成果

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率 就職活動個人シートを作成し、就職活動の状況を把握し内定までをフォローすることが当校の就職指導室の特徴である。</p> <p>資格・免許の取得率 資格、検定合格率向上のための対策授業等を行っている。</p> <p>卒業生の社会的評価 現在は、新卒の学生および採用企業への訪問を中心にを行っている。</p>	<p>就職率 □留学生については、ビザ取得までが就職活動であり、今年度以上に企業開拓からビザ取得のフォローまでよりきめ細かく行っていく。</p> <p>資格・免許の取得率 □現在以上の合格率確保のために次年度も引き続ききめ細かな対策授業を行っていく。</p> <p>卒業生の社会的評価 □就職後 3 年の卒業生および企業訪問などを通して卒業後の実態を把握するよう努めている。</p>	

最終更新日付

2018年5月10日

記載責任者

川本 朋香

4-13 就職率

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか	①就職率に関する目標設定はあるか	4	①前年を振り返り毎年設定している。	<input type="checkbox"/> 当校は留学生の就職ケアを日本人学生と同様に行っている。留学生については内定、即採用とはならず、その後、毎年12月以降より在留資格(ビザ)変更手続きをしなければならず、卒業までにビザの結果が出ない場合が多い。 <input type="checkbox"/> 学生への就職機会をより増やすべく、より積極的な企業開発は継続的に行っていく。	
	②学生の就職活動を把握しているか	4	②個人シートを作成し全て把握している。		
	③専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか	4	③把握している。		
	④関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか	4	④学校及び企業と連携した独自の「就職セミナー」を開催している。		
	⑤就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	⑤定期的にメンテナンスし管理している。		

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職活動個人シートを作成し、就職活動の状況を把握し内定までをフォローすることが当校の就職指導室の特徴である。留学生については、ビザ取得までが就職活動であり、今年度以上に企業開拓からビザ取得のフォローまでよりきめ細かく行っていく。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

4-14 資格・免許の取得率

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	①資格・免許取得率に関する目標設定はあるか	4	①各資格、検定ごとに目標設定をしている。	□資格、検定取得に関する目標設定を行い、検定合格率向上のための対策講座等の設定を行っている。 □合格率向上のためのよりきめ細かな対策授業の設定を継続して行っていく。	
	②特別講座、セミナーの開講等授業を補完する学習支援の取組はあるか	4	②資格、検定対策のために特別授業などを定期的に行っている。		
	③合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか	4	③合格実績、合格率を出している。		
	④指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	④合格実績にもとづき指導方法の改善や特別授業の設定を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格、検定合格率向上のための対策授業等を行っているが、現在以上の合格率確保のために次年度も引き続ききめ細かな対策授業を行っていく。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

4-15 卒業生の社会的評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	①卒業生の就職先の企業・施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか ②卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	4 4	①卒業生の就職先の訪問することで卒業生および採用担当者よりのヒアリングを行っている。 ②卒業生の研究実績や仕事上の業績などを把握するよう努めている。	□現在は、新卒の学生および採用企業への訪問を中心に行っているが、就職後3年の卒業生および企業訪問などを通して卒業後の実態を把握するよう努める。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現在は、新卒の学生および採用企業への訪問を中心に行っているが、今後は就職後3年の卒業生および企業訪問などを通して卒業後の実態を把握するよう努める。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

基準 5 学生支援

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職等進路 就職等進路に関する支援組織体制については各部門とも連携するなど情報共有に努めており現状大きな問題は生じていない。</p> <p>中途退学への対応 担任会議などで学生の状況については常に情報共有により中途退学低減の努力をして退学者の低減に寄与している。</p> <p>学生相談 留学生の生活状況を含め在籍管理などの生活指導は全校をあげて取組んでいる。</p> <p>学生生活 奨学金等の経済的支援制度は、整備されているが学校規模からも潤沢に予算が作れず高額な経済的支援ができないのが現状である。</p> <p>保護者との連携 現状大きな問題は発生していない。</p> <p>卒業生・社会人 同窓会の設立は当校の課題ではあるが、留学生を中心に任意の強固なネットワークを保持しており学校公式 SNS を媒介として積極的に利用してもらっている。</p>	<p>就職等進路 □現状大きな問題は生じていない。</p> <p>中途退学への対応 □学生へのメンタルケアの重要性から現在 2 名の有資格者がいるが今後も資格取得を教職員に薦めていく。</p> <p>学生相談 □留学生の就職、進学については在留資格（ビザ）との関連性が深く、今後も教職員には法令遵守など独自の対応が必要であり担任会議などできめ細かな情報共有に努めていく。昨年度より学生相談カードの明確な管理を行っている。</p> <p>学生生活 □学生への緊急時の高額な経済的支援体制は中長期の中で解決させる。</p> <p>保護者との連携 □より緊密な連携体制を中長期計画の中で整備していく。</p> <p>卒業生・社会人 □定期的に就職者を中心とした同窓会を実施する。</p>	

最終更新付	2018 年 5 月 10 日	記載責任者	川本 朋香
-------	-----------------	-------	-------

5-16 就職等進路

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	①就職など進路支援のための組織体制を整備しているか	4	①進路支援のための組織体制を整備している。	□就職等進路に関する支援組織体制については各部門とも連携するなど情報共有に努めており現状大きな問題は生じていない。	
	②担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか	4	②就職指導室、教務部、事務部が連携できる仕組みを整備している。		
	③学生の就職活動の状況を学内で共有しているか	4	③担任会議などで情報を共有している。		
	④関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか	4	④就職実績企業などの情報をできるだけ把握するよう努めている。		
	⑤就職説明会等を開催しているか	4	⑤当校独自の就職説明会を開催している。		
	⑥履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか	4	⑥学内ではキャリアアップクラスを開講、学外講座の紹介も積極的に行っている。		
	⑦就職に関する個別の相談に適切に応じているか	4	⑦できるだけきめ細かに相談には応じている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職等進路に関する支援組織体制については各部門とも連携するなど情報共有に努めており現状大きな問題は生じていない。	

最終更新日付

2018年5月10日

記載責任者

川本 朋香

5-17 中途退学への対応

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか	①中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか	4	①把握している	□担任会議などで学生の状況については常に情報共有により中途退学低減の努力をしてお退学者の低減に寄与している。 □学生へのメンタルケアの重要性を感じており、教職員へのカウンセラー資格取得を薦めており現在2名が取得している。今後も取得者を増やしていきたい。	
	②指導経過記録を適切に保存しているか	4	②担任、事務、校長との面談を経て最終記録を保管している。		
	③中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか	4	③教務部、事務部が連携し早期対策に努めている。		
	④退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	④教職員にメンタルカウンセラーの資格取得を薦めている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任会議などで学生の状況については常に情報共有により中途退学低減の努力をしてお退学者の低減に寄与している。 学生へのメンタルケアの重要性を感じており、教職員へのカウンセラー資格取得を薦めており現在2名が取得している。今後も取得者を増やしていきたい。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

5-18 学生相談

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	①専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか	4	①専任カウンセラーの配置はないが、担任制をとっており学生相談に応じやすい環境を整えている。	□担任制をとることで学生相談に応じやすい環境を作ると同時に、担任会議等で問題についての情報共有に努めている。 □学生相談シートのフォームを昨年度統一し運用すると同時に鍵のかかる書庫に保管している。	
	②相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか	4	②個別相談が行える部屋を持っている。		
	③学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか	3	③入学時のオリエンテーションなどで案内している。		
	④相談記録を適切に保存しているか	4	④相談記録を書庫に保管している。		
	⑤関連医療機関等との連携はあるか	4	⑤いくつかの医療機関と連携している。		
	⑥卒業生からの相談について、適切に対応しているか	4	⑥卒業生からの相談にも対応している。		
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	①留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか	4	①留学生担当の職員を配置している。	□留学生の生活状況を含め在籍管理などの生活指導は全校をあげて取り組んでいる。 □留学生の就職、進学については在留資格（ビザ）との関連性が深く、教職員には法令遵守など独自の対応が必要であり担任会議などで情報共有に努めている。	
	②留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか	4	②留学生の在籍管理等生活指導を行っている。		
	③留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか	4	③留学生に対する就職・進学指導を行っている。		
	④留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	4	④指導状況に応じて文書化し保存している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>留学生の生活状況を含め在籍管理などの生活指導は全校をあげて取組んでいる。 留学生の就職、進学については在留資格（ビザ）との関連性が深く、教職員には法令遵守など独自の対応が必要であり担任会議などで情報共有に努めている。 学生用相談シートの活用について整備され適切に保管されている。</p>	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

5-19 学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	①学校独自の奨学金制度を整備しているか	4	①入学前の特別奨学生制度、入学後の「ことば奨学金」を設けている。	□学生への経済的支援制度は整備されているが、留学生を受け入れている学校特性もありできるだけ多くの学生支援の必要性を感じているが潤沢な予算が確保できず、少額のみ支援に限定されているのが現状である。	
	②大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援制度を整備しているか	4	②大規模災害発生時及び家系急変時の支援制度を設けている。		
	③学費の減免、分割納付制度を整備しているか	4	③学費の減免、分納制度を整備している。		
	④公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか	4	④公的支援制度を含め定期的に案内や相談受付をしている。		
	⑤全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか	4	⑤学生への案内は十分である。		
	⑥全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	4	⑥利用実態を把握している。		
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	①学校保健計画を定めているか	4	①保健計画を定めている。	□学校医の選任、保健室の整備、定期健康診断等、学生の健康管理体制は整備されている。 □保健室の専門職員の配置は行っていないが、医療機関との連携、職員の同行などで適切に対応できている。	
	②学校医を選任しているか	4	②学校医を選任している。		
	③保健室を整備し専門職員を配置しているか	4	③保健室は整備している。		
	④定期健康診断を実施して記録を保存しているか	4	④定期健康診断を実施して記録を保存している。		
	⑤有所見者の再健診について適切に対応しているか	4	⑤再検診についても対応している。		

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
5-19-2 続き	⑥健康に関する啓発及び教育を行っているか ⑦心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか ⑧近隣の医療機関との連携はあるか	4 4 4	⑥入学時オリエンテーション等を通して行っている。 ⑦有資格職員を配置している。 ⑧症例別医療機関と連携	□健康に関する相談を気軽に行える環境と適宜職員が病院に同行するなどの体制を整えている。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	①遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか ②学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか ③学生寮の数、利用人員、充足状況は、明確になっているか	3 3 3	①学校法人グループとして保有している。 ②グループ校に専任職員を配置している。 ③明確になっている。	□寮は原則、グループ校の日本語学校の学生に優先的に利用してもらっているため、当校の入寮者は少ない。しかしながら当校の学生を安い家賃で入居できるアパートや不動産会社と連携しできるだけ学生に負担のかからないようにしている。 □今後学生数が増加すれば、独自寮の設置も検討したい。	
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	①クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか ②大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか ③大会成績など実績を把握しているか	4 4 4	①専任の担当職員を配置し把握している。 ②引率、補助金含め積極的に行っている。 ③全て把握している。	□現在設置されているクラブ活動数の範囲では十分支援できる体制がある。 □今後、学生の要望でクラブ数が増加すれば担当職員数問題になるので対応に限界がある可能性も想定できる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
奨学金等の経済的支援制度は、整備されているが学校規模からも潤沢に予算が作れず高額な経済的支援ができないのが現状である。学生の健康管理体制、寮、アパート、クラブ活動については現状規模では大きな問題はない。	

5-20 保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	①保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか	3	①進級時の保護者面談等を行っている。定期的に学校活動を報告する広報誌を送付している。 ②保管している。 ③問題が大きくなる前に保護者と連携し対策を取っている。 ④連絡体制を確保している。	□現状特に大きな問題は発生していない。 □留学生を受け入れている学校として海外の保護者への情報提供や連携が難しく課題となっているが、問題時に連絡を取ることぐらいしか対応策が見いだせていない。	
	②個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか	3			
	③学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか	4			
	④緊急時の連絡体制を確保しているか	4			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現状大きな問題は発生していないが、留学生の保護者への情報提供や連携については最適な解決策が見いだせていない。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

5-21 卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	①同窓会を組織し、活動状況を把握しているか ②再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか ③卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか ④卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	4 4 4 3	①同窓会委員を組織し定期的に同窓会を開催している。 ②卒業後も在校生同様に 対応している。 ③卒業後の就職対応クラスを開講している ④申し出があった際に対応している。	□留学生を中心に強固なネットワークをもっており学校の公式 SNS 等を活用し活動状況を把握している。また、平成28年度より同窓会を組織し同窓会パーティを定期的実施している。	
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	①関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか ②学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	2 2	①再教育プログラムの共同開発は行っていない。 ②学会・研究活動について特に関連業界と連携はしていない。	□卒業後の再就職支援を学校独自で行っているが、職能団体との再教育プログラムの開発などは行っていない。 □中長期計画の中で今後の開発の必要性について判断する。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	①社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか ②社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか ③図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか ④社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	2 2 3 4	①社会人経験者の受入は積極的に行っているが、特別な履修制度は設けていない。 ②長期履修制度は導入していない。 ③社会人学生、一般学生とも同条件で利用できる。 ④一般学生同様個別相談に応じている。	□特に社会人経験者向けに特別な履修制度は設けていないが、必須科目は原則午前中に集中させており、業種によっては就業を継続しながら学習できるよう配慮している。 □今年度中に社会人学生の入学制度、履修制度の整備を行い、来年度の募集要項に記載できるようにする。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>同窓会の設立は当校の課題ではあるが、留学生を中心に任意の強固なネットワークを保持しており学校公式 SNS を媒介として積極的に利用してもらっている。平成 28 年度に同窓会委員を組織し同窓会を定期的に行っている。</p> <p>今年度中に社会人学生の入学制度、履修制度の整備を行い、来年度の募集要項に記載できるようにする。</p>	

最終更新日付	2018 年 5 月 10 日	記載責任者	川本 朋香
--------	-----------------	-------	-------

基準 6 教育環境

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備等 現状の施設は、設置基準・関係法令を満たす施設であるが、バリアフリー対策が未整備である。 図書室については、適宜充実を図っているが、まだ質量とも十分とは言えない。</p> <p>学外実習、インターンシップ等 学外実習、インターンシップ、海外研修は積極的に実施している。「インターンシップ履修に関する規定」を整備した。インターンシップ、研修期間中に関わらず学生の安全及び研修先での損害賠償に対応するために「学生 24 時間共済」に全員加入することとした。 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけ等について実施要綱・マニュアルを整備されていない。</p> <p>防災・安全管理 防災体制については定期的、計画的に行われており現状大きな課題はない。</p>	<p>施設・設備等 □バリアフリー対策が未整備であり、中長期計画の中で整備していく。 図書室についての学生ニーズや図書室のあり方、利便性を把握し図書室改善報告書を H30 年度中に取りまとめ、改善活動に取り組む。</p> <p>学外実習、インターンシップ等 □実習、研修、インターンシップ内容については、学生の意見なども取り入れ満足度も教育効果も高いものにしていくとともに、マニュアル等書類上の整備を行う。</p> <p>防災・安全管理 □防災訓練については、あらゆる防災に対応できるよう毎年見直しを行うようにする。</p>	

最終更新日付

2018年5月10日

記載責任者

袴田 靖子

6-22 施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	①施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか	4	①設置基準、関係法令を満たす施設・設備等を設置している。	<input type="checkbox"/> 教育上の施設については現状大きな課題はないが、バリアフリー対策については中長期計画の中で整備する。 <input type="checkbox"/> 今後の定員増には、現状の施設では対応できず増築等について中長期計画の中で整理していく。 <input type="checkbox"/> 当校の図書室についての学生ニーズを把握し、図書室のあり方、利便性を把握し図書室改善報告書を今年度中に取りまとめ、改善活動に取り組む。	
	②図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか	4	②学習支援のための施設は整備されている。		
	③図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか	3	③学生、教職員の要望に応じて適宜充実させているが、学生ニーズに応えられる必要十分量とは言えない。		
	④学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか	3	④休憩・食事のためのスペースは確保されているが、より快適なスペースが必要である。		
	⑤施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか	2	⑤バリアフリー対策は未整備である。		
	⑥手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか	4	⑥定期的な清掃を行い衛生管理を行っている。		
	⑦卒業生に施設・設備を提供しているか	4	⑦卒業生の施設利用に制限はない。		
	⑧施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか	4	⑧日常点検は行われ、必要に応じて迅速に補修を行っている。		
	⑨施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	4	⑨中長期計画の中で、改築・改修を行っている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>現状の施設は、設置基準・関係法令を満たす施設であるが、バリアフリー対策が未整備であり、中長期計画の中で整備していく。当校の図書室についての学生ニーズを把握し、図書室のあり方、利便性を把握し図書室改善報告書を今年度中に取りまとめ、改善活動に取り組む。</p>	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	①学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか	3	①明確にし実施要綱等整備した。	□「インターンシップ履修に関する規定」を整備した。インターンシップ、研修期間中に関わらず学生の安全及び研修先での損害賠償に対応するために「学生 24 時間共済」に全員加入することとした。 □実習、研修、インターンシップ内容については、学生の意見なども取り入れ満足度が高く、教育効果の高いものに常に実施していきたい。	
	②学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか	3	②実施要綱等を整備した。		
	③関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか	3	③企業研修等を実施している。		
	④学外実習について、成績評価基準を明確にしているか	3	④実施要綱等への記載など整備した。		
	⑤学外実習等について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか	4	⑤連絡・協議の機会を確保している。		
	⑥学外実習等の教育効果について確認しているか	4	⑥確認している。		
	⑦学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	4	⑦学生が運営に主体的に参加できるよう配慮している。		
	⑧卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか	4	⑧広報誌等を活用し積極的に案内している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学外実習、インターンシップ、海外研修は積極的に実施している。「インターンシップ履修に関する規定」を整備した。インターンシップ、研修期間中に関わらず学生の安全及び研修先での損害賠償に対応するために「学生 24 時間共済」に全員加入することとした。</p> <p>実習、研修、インターンシップ内容については、学生の意見なども取り入れ満足度が高く、教育効果の高いものに常にしていきたい。</p>	

最終更新日付	2018 年 5 月 10 日	記載責任者	袴田 靖子
--------	-----------------	-------	-------

6-24 防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	①学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか ②施設・建物・設備の耐震化に対応しているか ③防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか ④防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか ⑤備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底しているか ⑥学生、教職員に防災教育・研修を行っているか	4 4 4 4 3 4	①学校防災計画、行動マニュアルを整備している。 ②耐震化に対応している。 ③対応している。 ④定期的に実施され記録を保存している。 ⑤安全管理を行っているが常時見直しが必要。 ⑥定期的に行っている。	□防災体制については定期的、計画的に行われており現状大きな課題はない。	□学校防災計画 □防災行動マニュアル □防災訓練
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	①学校安全計画を策定しているか ②学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか ③授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか	4 4 3	①策定している。 ②セキュリティ会社と連携し適切に運用されている。 ③安全計画にもとづき迅速に対応している。	□安全管理体制については、現在大きな課題はない。	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
6-24-2 続き	④薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか ⑤担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	4 4	④適切に対応している。 ⑤担当教員を明確化し整備している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災体制については定期的、計画的に行われており現状大きな課題はない。 防災訓練については、あらゆる防災に対応できるよう毎年見直しを行うようにする。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受入れ

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動 募集時期、募集活動は専修学校団体の自主規制に即して適切に行われている。 学校案内を含め学生募集ツールは、よりわかりやすく特徴を伝えるために募集対象者に応じて複数作成される必要性を感じている。</p> <p>入学選考 入学選考基準は明確化されており、公平性が保たれるよう教務部、事務部が連携し合否判定体制を整備している。しかしながら詳細な入学選考基準、方法は、規程等の文書化はされていない。</p> <p>学納金 同種類・規模校の水準を把握しできるだけ学生に負担をかけない学納金の設定を行っている。</p>	<p>学生募集活動 <input type="checkbox"/>学校規模の広報予算から、制作物については限定せざるを得ない。中長期計画の中で見直しを図っていく。</p> <p>入学選考 <input type="checkbox"/>より詳細な入学選考基準、方法は、規程等の文書化を今年度中に行う。</p> <p>学納金 <input type="checkbox"/>現状大きな課題はない。</p>	

最終更新日付

2018年5月10日

記載責任者

川本 朋香

7-25 学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	<p>①高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか</p> <p>②高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか</p> <p>③教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか</p>	4 3 3	<p>①高等学校の進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っている。</p> <p>②要望のある高校等の教職員に対し、入学説明会を実施している。</p> <p>③専用の印刷物はないが適宜、資料を作成している。</p>	<p>□高等学校等で行う進学説明会には積極的に参加しており、情報提供にも努めている。</p> <p>□高等学校での説明会は現在、静岡県内と一部県外に限定されており、中期計画の中で県外での募集活動を積極的に行う。</p>	
7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	<p>①入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか</p> <p>②専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか</p> <p>③志願者等からの入学相談に適切に対応しているか</p> <p>④学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか</p> <p>⑤広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか</p>	4 4 4 4 4	<p>①専修学校団体が定める適切な募集時期に願書受付を開始している。</p> <p>②自主規制に則した募集活動を行っている。</p> <p>③志願者からの入学相談には電話、メール、SNSや来校時に適切に対応している。</p> <p>④学校案内やホームページを通して分かりやすい情報提供に努めている。</p> <p>⑤入学対象者の個人情報については1台のPC限定されたソフトでのみ閲覧できるようなどのセキュリティ対策を行っている。</p>	<p>□募集時期、募集活動は専修学校団体の自主規制に即して適切に行われている。</p> <p>□学校案内を含め学生募集ツールはよりわかりやすく特徴を伝えるために募集対象者に応じて複数作成される必要性を感じているが、学校規模の広報予算から、制作物については限定せざるを得ない。中長期計画の中で見直しを図っていく。</p>	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
7-25-2 続き	⑥体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか ⑦志望者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	4 4	⑥学校説明会の毎月の開催、大型イベントなどの実施を行っている。 ⑦留学生、県外受験者のための試験・選考方法を取り入れている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
募集時期、募集活動は専修学校団体の自主規制に即して適切に行われている。学校案内を含め学生募集ツールは、よりわかりやすく特徴を伝えるために募集対象者に応じて複数作成される必要性を感じているが、学校規模の広報予算から、制作物については限定せざるを得ない。中長期計画の中で見直しを図っていく。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

7-26 入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<p>①入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか</p> <p>②入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか</p> <p>③入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか</p>	4 4 4	<p>①募集要項等を通して明確に定めている。</p> <p>②入学選考等は、規定にもとづき適切に運用している。</p> <p>③教務部、事務部が連携し公平な合否判定体制を整備している。</p>	<p>□入学選考基準は明確化されており、公平性が保たれるよう教務部、事務部が連携し合否判定体制を整備している。</p> <p>より詳細な入学選考基準を今年度中に文書化する。</p>	
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<p>①学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか</p> <p>②学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか</p> <p>③学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか</p> <p>④財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか</p>	4 4 4 4	<p>①学科コースごとの入学専攻データは適切に管理している。</p> <p>②レベル別の授業を行うなど入学者の傾向に出来るだけ対応している。</p> <p>③募集計画を作成し目標数値達成に向けて募集活動を常時見なおしている。</p> <p>④入学予想者数と財務等の計画数値の整合性に努めている。</p>	<p>□対象者への接触数と出願に至る予測数値が見えるようになってきたが最適化されているとは言えず、今後3年程度は、最適化までの摸索期間が継続される。</p>	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考基準は明確化されており、公平性が保たれるよう教務部、事務部が連携し合否判定体制を整備している。より詳細な入学選考基準を今年度中に文書化する。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

7-27 学納金

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	①学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか	4	①明確にしている。	□同種類・規模校の水準を把握しできるだけ学生に負担をかけない学納金の設定を行っている。	
	②学納金の水準を把握しているか	4	②同種類・同規模校の水準を把握している。		
	③学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	③全て募集要項および学生便覧に明示している。		
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	①文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	4	①入学辞退者等に対する授業料の返還規程については募集要項等で明示し、適切に運用している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同種類・規模校の水準を把握しできるだけ学生に負担をかけない学納金の設定を行っている。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	川本 朋香
--------	------------	-------	-------

基準 8 財 務

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>財務基盤 平成 29 年度に教室稼働と定員のバランスが最適化された。これに伴い収入と支出のバランスも最適な状態となっている。課題とされていたキャッシュフローデータの毎月の管理も実行されている。</p> <p>予算・収支計画 予算策定及び執行管理は適切に行われているが、予算規定の整備が遅れている。</p> <p>監査 学校規模から鑑みて監査は適切に実施されている。</p> <p>財務情報の公開 財務情報についてはホームページに公開している。財務公開規定は整備されていない。中期計画の中で整備する。</p>	<p>財務基盤 <input type="checkbox"/>中・長期計画に沿った予算を策定するために基本金組み入れ額などについても再検討をする。</p> <p>予算・収支計画 <input type="checkbox"/>予算規定の整備を行う。</p> <p>監査 <input type="checkbox"/>外部監査については、中長期計画の中で整理していく。</p> <p>財務情報の公開 <input type="checkbox"/>財務公開規定を整備する。</p>	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

8-28 財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	①応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか	4	①把握している。		決算書 予算書 中期事業計画書
	②収入と支出はバランスがとれているか	4	②バランスが取れている。		
	③貸借対照表の翌年度繰越収入超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか	4	③マイナスではない。		
	④消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか	4	④マイナスではない。		
	⑤設備投資が過大になっていないか	4	⑤特に過大投資はない。		
	⑥負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか	4	⑥負債は、返還可能で妥当な数値である。		
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	①最近3年間の収支状況(消費収支・資金収支)による財務分析を行っているか	4	①分析は行われている		
	②最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか	4	②分析は行われている。		

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
8-28-2 続き	③最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか ④キャッシュフローの状況を示すデータはあるか ⑤教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか ⑥コスト管理を適切に行っているか ⑦収支の状況について自己評価しているか ⑧改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	4 4 4 4 4 4	③負債等の償還計画を策定している。 ④月別のキャッシュフローデータ管理を行っている。 ⑤適切である ⑥コスト管理は適切に行っている。 ⑦自己評価している。 ⑧適宜策定している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成29年度にて教室稼働と定員数が最適化されたため、収入と支出のバランスも最適化されている。またキャッシュフローデータの月別管理も平成29年度より行っている。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くらみ子
--------	------------	-------	---------

8-29 予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	①予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか ②予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	4 4	①予算編成は事業計画、教育目標に基づいて行われているので整合性はとれている。 ②編成過程及び決定過程は明確である。		
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	①予算の執行計画を策定しているか ②予算と決算に大きな乖離を生じていないか ③予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか ④予算規程、経理規程を整備しているか ⑤予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか	4 4 4 3 4	①策定している。 ②乖離はない。 ③補正予算で対応している。 ④経理規定はあるが予算規定は整備されていない。 ⑤適切な会計処理を行っている。	□予算規定の整備を行う	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>予算策定については各部門での作成、幹部会、理事会の承認を得て策定している。 予算の執行管理については、稟議書等を通して執行管理を行っている。 編成・執行ともに適切に行われてきているが文書化された予算規定の整備が遅れているので次年度への課題となっている。</p>	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

8-30 監査

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	①私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	①監事による監査は適切に実施している。	□学校規模から鑑みて監査は適切に実施されている。外部監査については、中長期計画の中で整理していく。	
	②監査報告書を作成し理事会等で報告しているか	4	②監査報告書を作成し、理事会等で報告している。		
	③監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか	2	③外部監査は実施していない。		
	④監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	3	④監査報告書に記載している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校規模から鑑みて監査は適切に実施されている。外部監査については、中長期計画の中で整理していく。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

8-31 財務情報の公開

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
8-31-1 私立学校 法に基づく財務 公開体制を整備 し、適切に運用し ているか	①財務公開規程を整備し、 適切に運用しているか	2	①財務公開規定はまだ整 備されていない。	□財務情報についてはホームページに公開し ている。 □財務公開規定は整備されておらず、中期計画 の中で整備する。	
	②公開が義務づけられてい る財務帳票、事業報告書 を作成しているか	4	②財務帳票、事業報告書 を作成している。		
	③財務公開の実績を記録し ているか	4	③記録している。		
	④公開方法についてホーム ページに掲載するなど積極 的な公開に取り組んでいるか	4	④ホームページに公開し ている。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務情報についてはホームページに公開している。 財務公開規定は整備されておらず、中期計画の中で整備する。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

基準 9 法令等の遵守

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>関係法令、設置基準等の遵守 平成 29 年度は法人での学校新設業務をかかえ静岡県への認可申請に遅延が生じた。 セクシャルハラスメント、コンプライアンスに関する整備が遅れている。</p> <p>個人情報保護 学生の個人情報については、パスワードの設定、SSL の設定、学内サーバへのファイヤーウォールの設定などの対策を講じている。また出席簿や学生個表は鍵のかかる書庫へ保管され適切な管理を行っている。しかし、教職員への啓発活動が遅れている。</p> <p>学校評価 自己評価、学校関係者評価は適切に組織化され学校運営改善に寄与している。</p> <p>教育情報の公開 年度を通して必要な情報は学校案内やホームページで公開し、適宜情報公開が必要なものについては、広報誌や公式 SNS を通じて公開している。</p>	<p>関係法令、設置基準等の遵守 <input type="checkbox"/> 担当者の管理ではなく組織としての管理を行っていく。 <input type="checkbox"/> 相談窓口を法人本部とし教職員や学生に周知する。併せてマニュアルの整備を行う。</p> <p>個人情報保護 <input type="checkbox"/> 学生や教職員への啓発活動を積極的に行う。</p> <p>学校評価 <input type="checkbox"/> 現状運用に大きな問題はない。</p> <p>教育情報の公開 <input type="checkbox"/> 現状大きな問題はない。</p>	

最終更新日付	2018 年 5 月 10 日	記載責任者	金子 くみ子
--------	-----------------	-------	--------

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	①関係法令及び設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等適切に行っているか	3	①学校運営に関し、法令順守の姿勢で運営し、諸届等も規程通り作成報告しているが昨年度遅延してしまつた申請及び届出があつた。	<input type="checkbox"/> 申請や届出を遅延なく行えるよう担当を決めるだけでなく組織的な書類管理を行っていく。 <input type="checkbox"/> セクシャルハラスメント、コンプライアンスに関する相談窓口は法人本部とし教職員への周知を行うとともにマニュアルを作成する。	
	②学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか	4	②学校運営に関する規定等も整備している。		
	③セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定して適切に運用しているか	2	③セクシュアルハラスメントに関するマニュアルは作成していない。		
	④教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談受付窓口を設置しているか	2	④コンプライアンスに関する相談窓口は、設置していない。		
	⑤教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	2	⑥教職員、学生に対し、法令順守に関する教育、研修は実施していない。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ハラスメントやコンプライアンスについてのマニュアルが整備されていないため整備を行う。また、これらの相談窓口を法人本部としその周知を図る。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

9-33 個人情報保護

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	①個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか ②大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか ③学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか ④学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4 2 4 2	①個人情報保護に関する取扱い方針や規定は定められている。 ②個人データの取り扱い規程は定めていない。 ③サイトへのSSL、学内サーバへの強固なファイヤーウォールの設定など情報漏洩等の防止策を講じている。 ④学生・教職員に対する個人情報管理等の教育は実施していない。	<input type="checkbox"/> 学生の個人情報については、学生名簿などへのパスワードの設定、ホームページからの資料請求者へのSSLの設定、学内サーバへのファイヤーウォールの設定など対策を講じている。 <input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等の文書化については整備されている。 <input type="checkbox"/> H28年に学内サーバからの個人情報漏えい対策としてファイヤーウォールからより強固なセキュリティ対策を講じることができるUTM（統合脅威管理）システムへ移行させた。 <input type="checkbox"/> H28年に学生原簿や出席簿などは、鍵のかかる書庫への保管することとした。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の個人情報については、学生名簿などへのパスワードの設定、ホームページからの資料請求者へのSSLの設定、学内サーバへのファイヤーウォールの設定など対策を講じている。 個人情報保護規程については文書化され整備されている。 より強固なセキュリティ対策から、UTMの導入を行った。 学生個人情報が含まれる文書はすべて鍵のかかる書庫に移動した。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

9-34 学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	①実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	4	①学則には規定し明記されている。	□毎年実施し、次年度の改善項目を抽出し改善に取り組んでいるので大きな課題はない。	
	②実施に係る組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取り組んでいるか	4	②実施にかかる組織体制を整備し、毎年定期的実施している。		
	③評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	4	③重点項目を定め改善に取り組んでいる。		
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	④評価結果を報告書に取りまとめているか	4	④自己評価・学校関係者評価の報告書を作成している。		
	⑤評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	⑤自己評価報告書等はホームページで公表している。		
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	⑥実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか	3	⑥学則には規定していないが、規定等を整備して実施している。		
	⑦実施に際して組織体制を整備し、実施しているか	4	⑦組織体制を整備して実施している。		
	⑧設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか	4	⑧設立委員会に関連する業界からの委員を選任している。		
	⑨評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	4	⑨評価結果に基づき学校改善に取り組んでいる。		
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	⑩評価結果を報告書に取りまとめているか	4	⑩学校関係者評価報告書を取りまとめている。		
	⑪評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	4	⑪評価結果は、ホームページに公表している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己評価、学校関係者評価は適切に組織化され学校運営改善に寄与しており現状運用に大きな問題はない。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

9-35 教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	①学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか ②学生、保護者、関連業界等広く社会に公開するための方法で公開しているか	4 4	①②学校案内、ホームページ、広報誌を通して公開している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
年度を通して必要な情報は学校案内やホームページで公開し、適宜情報公開が必要なものについては、広報誌や公式 SNS を通じて公開している。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	金子 くみ子
--------	------------	-------	--------

基準 10 社会貢献・地域貢献

総括と課題	今後の改善方策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会貢献・地域貢献 韓国語学習希望者が多い学校特性から、韓国の教育機関との研修を中心とした相互交流活動を積極的に行っている。より社会に開かれた学校を目指すためにも、広範な学校からの情報発信が必要であり、中長期計画の中で改善していく。</p> <p>ボランティア活動 当校は、学内で日常的なボランティア組織を持つなど、学生に主体的にボランティア活動に参加してもらえるよう体制を整備している。</p>	<p>社会貢献・地域貢献 <input type="checkbox"/>中国語、英語学習者向けの交流プログラムの充実を中期計画の中で拡大していく。</p> <p>ボランティア活動 <input type="checkbox"/>積極的に学校でボランティア活動を実施している。</p>	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<p>①産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか</p> <p>②企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか</p> <p>③国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか</p> <p>④学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか</p> <p>⑤高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか</p> <p>⑥学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか</p> <p>⑦地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか</p> <p>⑧環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか</p> <p>⑨学生・教職員に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための教育、研修に取り組んでいるか</p>	2 3 3 3 4 3 4 4 3	<p>①規定は整備されていない。</p> <p>②大規模なものはないが、職業実践につながる授業を実施している。</p> <p>③付帯事業である実用日本語学校で県委託事業を請け負っている。</p> <p>④学生外の施設利用に制限を設けていない。</p> <p>⑤要望に応じて積極的に協力している。</p> <p>⑥学科特性から実習施設使用の要望はほとんどない。</p> <p>⑦「日本語教師養成講座」「実用日本語学校」を開講している。</p> <p>⑧学生ボランティア組織を持ち地域レベルで活動している。</p> <p>⑨情報発信を行い研修を定期的に始めている。</p>	<p>□より社会に開かれた学校を目指すためにも、広範な学校からの情報発信が必要であり、中長期計画の中で改善していく。</p>	

小項目	チェック項目	評定	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
10-36-2 国際交流 に取組んでいる か	①海外の教育機関との国際 交流の推進に関する方針を 定めているか ②海外の教育機関と教職員 の人事交流・共同研究等を行 っているか ③海外の教育機関と留学生 の受入れ、派遣、研修の実施 など交流を行っているか ④留学生の受入れのため、学 修成果、教育目標を明確化 し、体系的な教育課程の編成 に取組んでいるか ⑤海外教育機関との人事交 流、研修の実施など、国際水 準の教育力の確保に向け取 組んでいるか ⑥留学生の受入れを促進す るために学校が行う教育課 程、教育内容・方法等につ いて国内外に積極的に情報発 信を行っているか	2 3 4 4 3 4	①特に定めていない。 ②交流活動は行っているが 共同研究は行っていない。 ③中国、韓国、台湾、フィ リピンなどの教育機関と積 極的に行っている。 ④留学生のための学修目 標、教育目標を設定してい る。 ⑤海外研修などを通して海 外教育機関と協力してい る。 ⑥ホームページの多言語対 応、日本国内の日本語学校 での説明会を積極的に行っ ている。海外留学フェアへ も参加している。	□韓国語学習希望者が多い学校特性から、韓国 の教育機関との研修と中心とした相互交流活動 を積極的に行っている。中国、台湾、フィリピン などでも行っている。 □中国語、英語学習者向けの交流プログラムの 充実を中期計画の中で整備していく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
韓国語学習希望者が多い学校特性から、韓国の教育機関との研修と中心とした相互交流活動を積極的に行っている。 また、県委託事業を請け負ったり海外留学フェアに参加したりと活発な活動を継続している。今後は中国語、英語学習者向けの交流プログラムの充実を中期計画の中で整備していく。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

10-37 ボランティア活動

小項目	チェック項目	評価	現状・具体的な取組等	課題と今後の改善方策	参照資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	①ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか ②活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか ③ボランティアの活動実績を把握しているか ④ボランティアの活動実績を評価しているか ⑤ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4 4 4 4 4	①積極的に奨励している。 ②事案発生ごとに窓口を設置し支援体制を整えている。 ③把握している。 ④出席や単位認定、表彰制度などで評価している。 ⑤担任会議等を通して情報を共有している。	□当校は、学内で日常的なボランティア組織をもつなど、学生に主体的にボランティア活動に参加してもらえるよう体制を整備している。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
当校は、学内で日常的なボランティア組織をもつなど、学生に主体的にボランティア活動に参加してもらえるよう体制を整備している。	

最終更新日付	2018年5月10日	記載責任者	袴田 靖子
--------	------------	-------	-------

4 平成29年度重点目標達成についての自己評価

平成29年度重点目標	達成状況	今後の課題
<p>基準3 教育活動 教育方法・評価等 3-9-3 キャリア教育を実施しているか ①職業教育に関する方針、実施方針を平成29年度中に文書化する。</p> <p>教員・教員組織 3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか ②教員の資質向上を図るための学内研修制度を整え、授業内容・教育方法の改善や評価に組織的に取り組んでいく。</p> <p>基準6 教育環境 学外実習、インターンシップ等 6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか ③研修時、インターンシップ時の保険加入なども整備されているが実施要綱等への記載など詳細の定めが文書化されていないので今年度中に整備する。</p> <p>基準7 学生の募集と受入れ 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか ④入学選考基準は明確化されており、公平性が保たれるよう教務部、事務部が連携し合否判定体制を整備している。より詳細な入学選考基準を今年度中に文書化する。</p> <p>基準8 財務 8-28-2 キャッシュフローの状況を示すデータはあるか ⑤平成29年度より月別のキャッシュフローデータの管理を行う。</p>	<p>基準3 教育活動 教育方法・評価等 3-9-3 キャリア教育を実施しているか ①職業教育に関する方針を平成29年度中に文書化した。また、就職指導室と連携し、校内合同企業説明会の参加企業から意見聴取を行うためのアンケートを実施することにした。</p> <p>教員・教員組織 3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか ②教員の資質向上を図るため学内研修制度の整備に着手する。また、学外研修への参加を奨励するとともに、その成果の学内還元を積極的に行っていく。</p> <p>基準6 教育環境 学外実習、インターンシップ等 6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか ③インターンシップ履修に関する規定を整備した。インターンシップ、研修期間中に関わらず学生の安全及び研修先での損害賠償に対応するために、学生24時間共済に全員加入することにした。</p> <p>基準7 学生の募集と受入れ 7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか ④教務部、事務部と連携し日本人、留学生の入学選考基準を文書化した。</p> <p>基準8 財務 8-28-2 キャッシュフローの状況を示すデータはあるか ⑤6月から月別のキャッシュフローデータの管理を行っている。</p>	<p>基準3 教育活動 教育方法・評価等 3-9-3 キャリア教育を実施しているか ①校内合同企業説明会の参加企業へのアンケート結果を踏まえてキャリア教育の整備、充実を図っていく。</p> <p>教員・教員組織 3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか ②学外研修への参加を奨励しているが、十分とは言えないため、年間の学外研修参加を奨励する施策を打ち出す。</p>

